

重複世代モデルにおける預金契約：数値例による分析

同志社大学経済学部 小田 勇一

要約

本稿では、重複世代モデルにおける預金契約が持つ特徴について数値例を用いて分析した。その結果、重複世代モデルにおける預金契約のもとでは、定常状態からの微小な乖離が将来の銀行破綻を招くことが示された。これは、想定外の預金の引き出しに応じるため、銀行は過剰に投資を中断しなければならないため起こる。そのような意味で、重複世代モデルにおける預金契約には、現在と将来の預金者の間の潜在的な利害の対立に基づく不安定性が存在する可能性があることが示された。